

組立式屋外収納ユニット
ヨド自転車置場 YOKC型組立説明書

YOKCS-280 (A)
YOKCS-245 (A)

積雪地用

●組立前によく読んでください。

設置場所の制限

⚠ 注意

- この商品は、積雪荷重3000N/m²(300kgf/m² 積雪約100cm相当)で設計されています。それ以上の積雪が見込まれる地域での設置は絶対に避けてください。
- 建物の屋上には設置しないで下さい。
- 避難通路にあたる場所には設置しないで下さい。
- 大屋根からの雨や雪が、直接自転車置場の屋根に落ちる場所には設置しないで下さい。
- 崖のふち・風当たりの強い場所等、安全の確認が出来ない場所には、設置しないで下さい。
- 給湯器の前には設置しないで下さい。

組立施工の際には

⚠ 注意

- 転倒防止、基礎工事を必ず行ってください。
- 柱等の重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
- 柱は自立しませんが、添え木を用いる等、倒れない工夫を行って組み立ててください。
- 仮預けの無い部材がありますので、部材の落下等によるけがに注意してください。

お願い

- 組立の際には手袋を着用してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 高い足場が必要なときは、踏み台・脚立等、安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。
- 転倒の恐れがありますので母屋等にはぶらさがらないでください。

〈施工にあたって〉

1. まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
2. 部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
3. 部材は全て銅板製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
(安全のため必ず手袋を着用してください。)
4. 部材名称の左・右は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
5. 部材の組立では、ボルトの孔を合わせて組立ってください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

- 製造及び施工に対する保険について
BI証紙が貼付されている商品には、製造及び施工についてBI保険が付加されています。詳細については、財団法人ベターリビングのホームページ(<http://www.blhp.org/>)や当社のホームページをご覧ください。
- 施工方法・納まりについて
基礎・転倒防止工事については標準的施工方法とします。
軟弱地盤や、寒冷地等に設置する場合は、地域の実情に合わせてください。

●梱包部材表ヨド自転車置場YOKC型積雪地用

梱包 No.	梱包 名	部 材 名	数量	梱包 No.	梱包 名	部 材 名	数量
KC1-0401	柱前後N	柱 前 (K N) 左	1	KC1-0111	部品箱S梱包	六角フランジナットM6	4
		六角フランジナットM6	4			六角フランジナットM6	4
		柱 後 (K N) 左	1			剣先ボルトM6×99φ	34
		柱 後 (K N) 右	1			六角ナット M 6	34
KC1-0401A	柱前後NA	柱 前 (K N) 左A	1	KC1-0112	部品箱S梱包	山座M6.5×25×1.2	34
		柱 前 (K N) 右A	1			ウールパッキンW1/4小波	34
		柱 後 (K N) 左A	1			ナベテックス4φ×13φ	50
		柱 後 (K N) 右A	1			バインドPタイトネジ4φ×10φ	7
KC1-0611	胴縁・梁S	胴 縁 (K N) 側A	4	KC1-0112	部品箱S梱包	鉄筋10φ×350φ	4
		梁 (K S)	2			桁 金 具 (K N)	3
KC1-0511	桁S28	桁 (K S) 2 8 左	3			プ レ ー ト	4
		桁 (K S) 2 4 左	3			束 金 具 (K S)	1
KC1-0512	桁S24	桁 (K S) 2 8 左	3			屋根受けフレーム(1)	24
		桁 (K S) 2 4 左	3			車止めブラケット(1)	1
KC1-0517	桁S24	桁 (K S) 2 8 左	3	KC1-0112	部品箱S梱包	車止めブラケット(2)	1
		桁 (K S) 2 4 右	3			鼻隠し補強金具(KN)	1
KC1-0518	桁S24	桁 (K S) 2 4 右	3			六角ボルトM10×80φ	15
		桁 (K S) 2 4 右	3			六角袋ナットM10	15
KC1-0514	桁S28	桁 (K S) 2 8 中	3	KC1-0112	部品箱S梱包	平ワッシャM10	30
		桁 (K S) 2 4 中	3			アベトクシムスM10×23φ	16
KC1-0519	桁S24	桁 (K S) 2 4 中	3			六角フランジナットM10	12
		桁 (K S) 2 4 中	3			六角フランジナットM6×35φ	7
KC1-0615	胴縁28	胴 縁	2	KC1-0112	部品箱S梱包	アベトクシムスM6×10φ	17
		車止めパイプ28	1			六角フランジナットM6	3
KC1-0616	胴縁24	胴 縁	2			六角フランジナットM6×45φ	3
		車止めパイプ24	1			六角フランジナットM6	3
KC1-0602	間柱	間 柱 (6)	2	KC1-0416	柱連結S	額 縁 (6)	4
		間 柱 (K N) 背	1			額 縁 (K N) 左	1
		額 縁 (K N) 左	1			額 縁 (K N) 右	1
		額 縁 (K N) 右	1	KC1-0416A	柱連結SA	柱 前 (K N) 中A	1
KC1-0416	柱連結S	柱 後 (K N) 中	1			梁 (K S)	1
		梁 (K S)	1			間 柱 (K N) 中A	1
		間 柱 (K N) 背	1			束 金 具 (K S)	2
KC1-0416A	柱連結SA	額 縁 (6)	2	KC1-0111A	部品箱SA梱包	屋根受けフレーム(1)	27
		額 縁 (K N) 中A	1			屋根受けフレーム(2)左	3
		柱 後 (K N) 中A	1			屋根受けフレーム(2)右	3
		梁 (K S)	1			SN間柱前固定金具	6
KC1-0111	部品箱S梱包	間 柱 (K N) 背	1	KC1-0111A	部品箱SA梱包	桁キャップ(KN)左	3
		額 縁 (6)	2			桁キャップ(KN)右	3
		桁 金 具 (K N)	6			組 立 説 明 書	1
		プ レ ー ト	8			取 扱 説 明 書	1
KC1-0111	部品箱S梱包	束 金 具 (K S)	2	KC1-0111A	部品箱SA梱包	銘 板	1
		屋根受けフレーム(1)	27			補修スプレー(小)	1
		屋根受けフレーム(2)左	3			六角ボルトM10×80φ	31
		屋根受けフレーム(2)右	3			六角袋ナットM10	31
KC1-0111	部品箱S梱包	SN間柱前固定金具	6	KC1-0111A	部品箱SA梱包	平ワッシャM10	62
		桁キャップ(KN)左	3			アベトクシムスM10×23φ	49
		桁キャップ(KN)右	3			六角フランジナットM10	25
		車止めブラケット(1)	3			六角フランジボルトM6×35φ	19
KC1-0111	部品箱S梱包	組 立 説 明 書	1	KC1-0111A	部品箱SA梱包	アベトクシムスM6×10φ	54
		取 扱 説 明 書	1	KC1-0111A	部品箱SA梱包	六角フランジボルトM6×45φ	4
		銘 板	1			六角フランジナットM6	4
		補修スプレー(小)	1			六角フランジナットM6	4
KC1-0111	部品箱S梱包	六角ボルトM10×80φ	31	KC1-0111A	部品箱SA梱包	六角フランジナットM6	4
		六角袋ナットM10	31			六角フランジナットM6	4
		平ワッシャM10	62			六角フランジナットM6	4
		アベトクシムスM10×23φ	49			六角フランジナットM6	4
KC1-0111	部品箱S梱包	六角フランジナットM10	25	KC1-0111A	部品箱SA梱包	六角フランジナットM6	4
		六角フランジボルトM6×35φ	19			六角フランジナットM6	4
		アベトクシムスM6×10φ	54			六角フランジナットM6	4
		六角フランジナットM6	4			六角フランジナットM6	4
KC1-0111	部品箱S梱包	六角フランジナットM6	4	KC1-0111A	部品箱SA梱包	六角フランジナットM6	4
		六角フランジナットM6	4			六角フランジナットM6	4
		六角フランジナットM6	4			六角フランジナットM6	4
		六角フランジナットM6	4			六角フランジナットM6	4

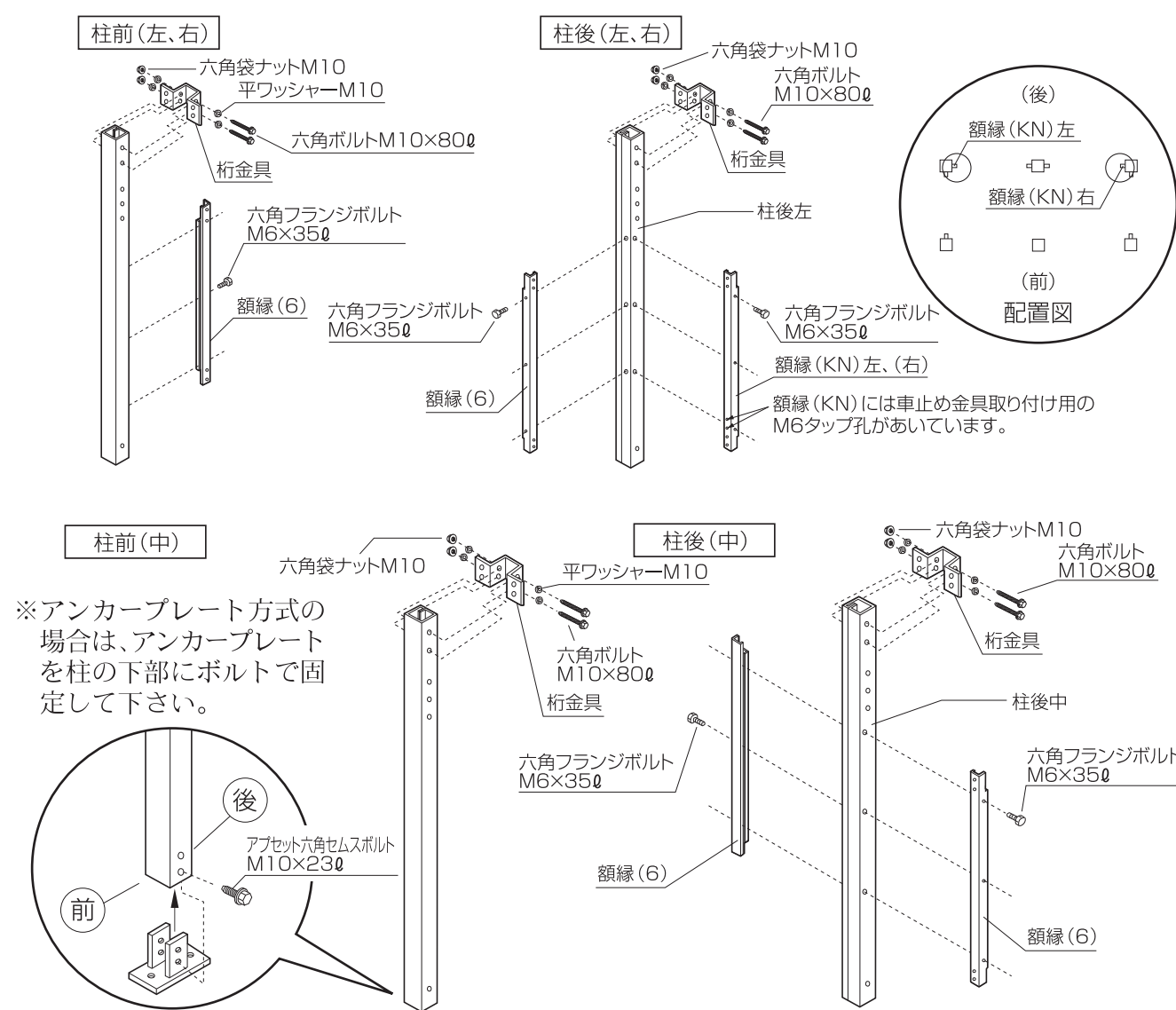
梱包 No.	梱包 名	部 材 名	数量	梱包 No.	梱包 名	部 材 名	数量
KC1-0111A	部品箱SA梱包	ウール/ビキ/W1/4小波	34	KC1-1116	鼻隠しS 24	ケラバ(K S) 右	1
		ナベテックス4φ×13φ	50			鼻隠しコーナー前左	1
		バインドPタイトネジ4φ×10φ	7			鼻隠しコーナー前右	1
		桁 金 具 (K N)	3			ケラバキャップ(KN)左	1
KC1-0112A	部品箱SA梱包	プ レ ー ト	4			ケラバキャップ(KN)右	1
		アンカープレート	2			アベトクシムスM10×23φ	9
		束 金 具 (K S)	1			六角フランジナットM6×18	13
		屋根受けフレーム(1)	24			六角フランジナットM6×23φ	12
		車止めブラケット(1)	1			六角フランジナットM6	14
		車止めブラケット(2)	1			山座M6.5×25×1.2	12
		鼻隠し補強金具(KN)	1			ウール/ビキ/W1/4小波	12
		六角ボルトM10×80φ	15			鼻隠し(KN)28左	1
		六角袋ナットM10	15			鼻隠し(KN)28右	1
		平ワッシャM10	30			ケラバ(K S) 左	1
		アベトクシムスM10×23φ	24			ケラバ(K S) 右	1
		六角フランジナットM10	12			鼻隠し接結金具(KN)	1
KC1-1112	鼻隠しS左右 28	六角フランジボルトM6×35φ	7	鼻隠しコーナー前左	1		
		六角ナット M 6	34	鼻隠しコーナー前右	1		
		アベトクシムスM6×10φ	17	ケラバ(K S) 左	1		
		六角フランジナットM6×45φ	3	ケラバ(K S) 右	1		
		六角フランジナットM6	3	アベトクシムスM6×10φ	9		
		六角フランジナットM6	3	六角フランジナットM6×23φ	18		
		六角ナット M 6	24	六角フランジナットM6×23φ	22		
		山座M6.5×25×1.2	24	六角フランジナットM6	22		
		ウール/ビキ/W1/4小波	18	山座M6.5×25×1.2	22		
		ナベテックス4φ×13φ	18	ウール/ビキ/W1/4小波	22		
		壁28 2.1	壁 (側)	2	鼻隠し(KN)24左	1	
		KC1-1006	壁24 2.1	壁 (側)	2	鼻隠し(KN)24右	1
				壁	1	ケラバ(K S) 左	1
		KC1-1002	壁28 2.2	壁 (側)	2	ケラバ(K S) 右	1
				壁	2	鼻隠し接結金具(KN)	1
		KC1-1007	壁24 2.2	壁 (側)	2	鼻隠しコーナー前左	1
壁	2			鼻隠しコーナー前右	1		
KC1-1003	壁28 0.2	壁	2	KC1-1117	鼻隠しS左右 24	ケラバ(K S) 左	1
		壁	2			ケラバ(K S) 右	1
KC1-1008	壁24 0.2	壁	2			アベトクシムスM6×10φ	9
		壁	2			六角フランジナットM6×23φ	22
KC1-1004	壁28 0.3	壁	3			六角フランジナットM6	22
		壁	3			山座M6.5×25×1.2	22
KC1-1009	壁24 0.3	壁	3			ウール/ビキ/W1/4小波	22
		壁	3			鼻隠し(KN)28中	1
KC1-0911	屋根S 5	ルーフ66 (K S)	5			鼻隠し(KN)28左	1
		ルーフ66 (K S)	4			鼻隠し接結金具(KN)	1
KC1-0912	屋根S 4	ルーフ66 (K S)	5			アベトクシムスM6×10φ	6
		ルーフ66 (K S)	3			六角フランジナットM6×23φ	11
KC1-1111	鼻隠しS 28	鼻隠し(KN)28中	1			六角フランジナットM6×23φ	6
		ケラバ(K S) 左	1			六角フランジナットM6	9
		ケラバ(K S) 右	1			山座M6.5×25×1.2	11
		鼻隠しコーナー前左	1			ウール/ビキ/W1/4小波	11
		鼻隠しコーナー前右	1	鼻隠し(KN)24中	1		
		ケラバキャップ(KN)左	1	鼻隠し接結金具(KN)	1		
		ケラバキャップ(KN)右	1	アベトクシムスM6×10φ	6		
		バインドPタイトネジ4φ×10φ	9	六角フランジナットM6×23φ	11		
		アベトクシムスM6×10φ	13	六角フランジナットM6	9		
		六角フランジボルトM6×23φ	12	山座M6.5×25×1.2	11		
		六角フランジナットM6	14	ウール/ビキ/W1/4小波	11		
		山座M6.5×25×1.2	12	鼻隠し(KN)24中	1		
		ウール/ビキ/W1/4小波	12	鼻隠し接結金具(KN)	1		
		鼻隠し(KN)24 中	1	アベトクシムスM6×10φ	6		
		ケラバ(K S) 左	1	六角フランジナットM6×23φ	11		
		KC1-1116	鼻隠しS 24	ケラバ(K S) 右	1	六角フランジナットM6	9
				山座M6.5×25×1.2	11		

組立順序

ボルトは使用する部材にあわせて色のボルトを使用して下さい。

1 桁金具・額縁の取付け

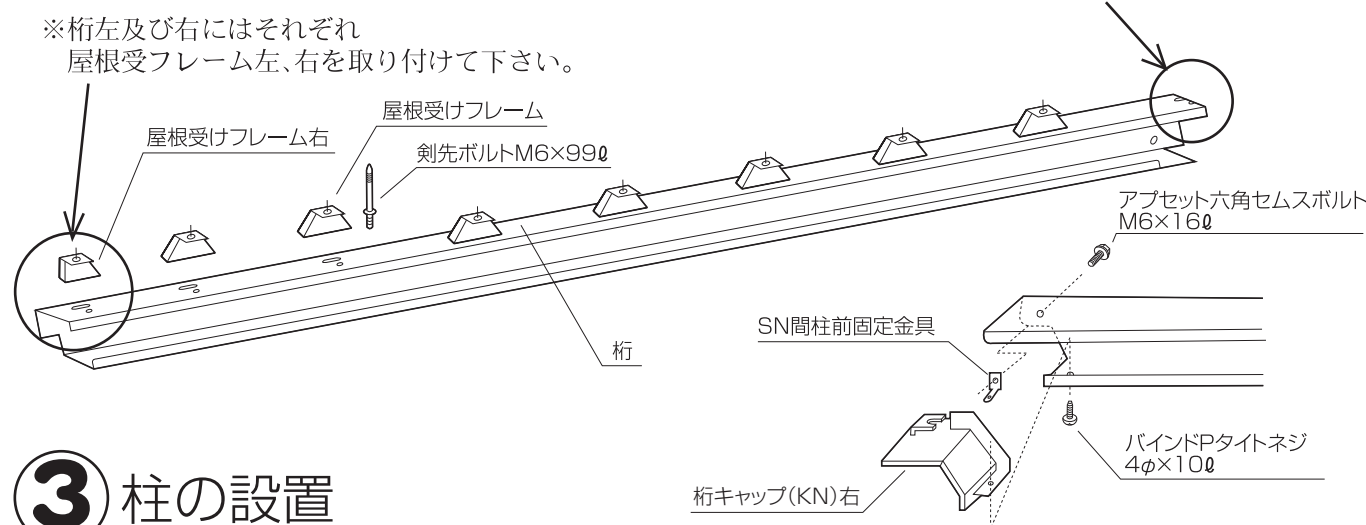
1. 各柱に額縁をボルトで固定します。柱後(左、右)は、額縁(6)と額縁(KN)を取り付けます。それぞれの向きを図で確認して間違いはないようにして下さい。(各柱に取り付ける部材は、下図を参考にして下さい。)



2 屋根受けフレーム・桁キャップの取付け

1. 桁に屋根受けフレームを取り付けます。
2. 桁の両端に桁キャップを取り付けます。

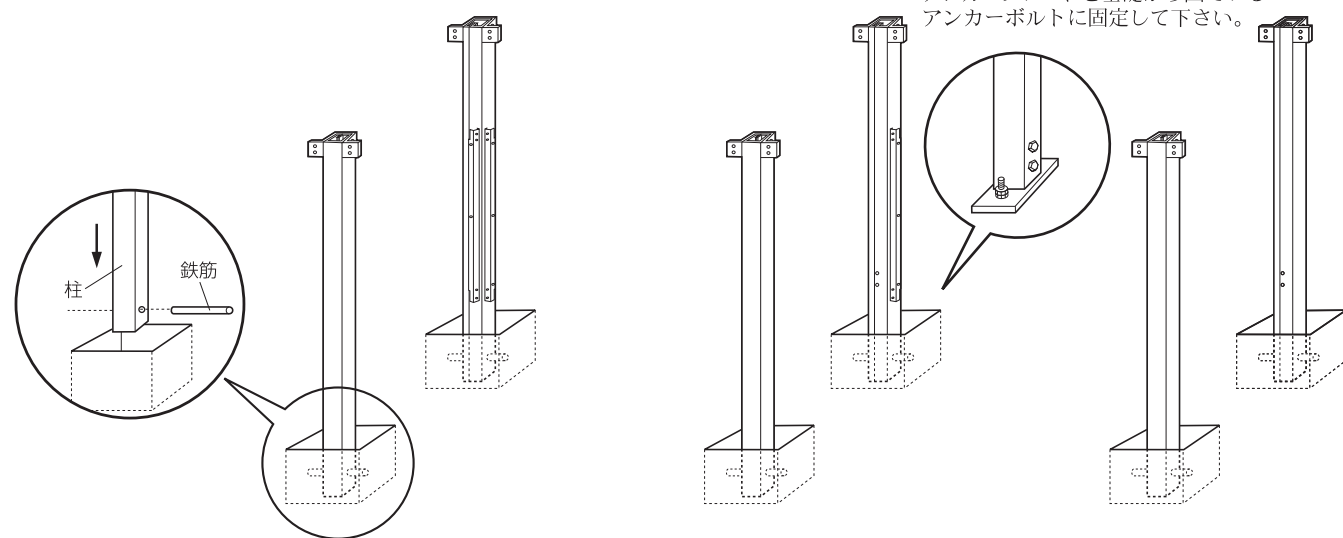
※連結部には屋根受けフレームを取り付けしないで下さい。



3 柱の設置

1. 柱脚部の穴に鉄筋を差込みます。
2. 柱を基礎図に従い立てます。

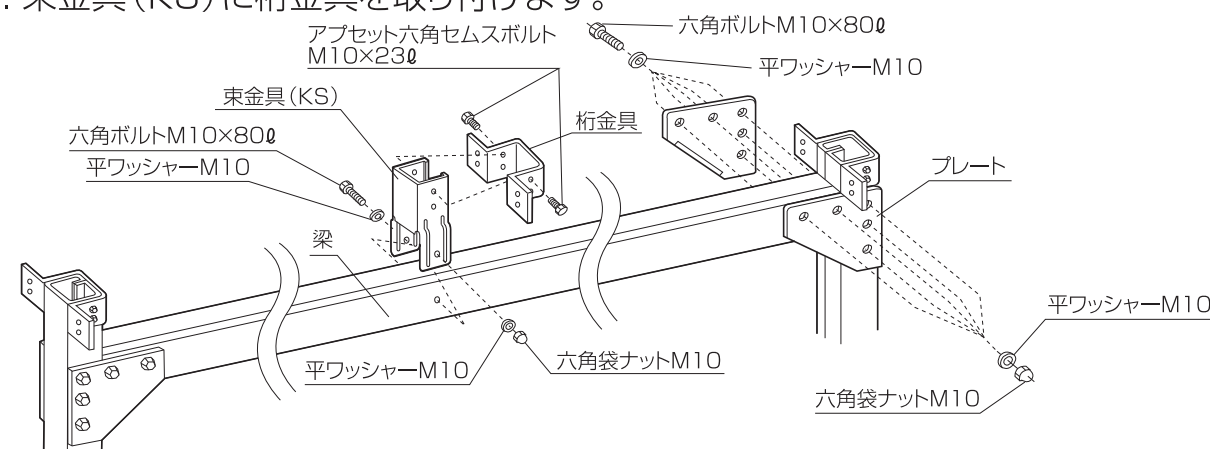
※アンカープレート方式の場合は、アンカープレートを基礎から出ているアンカーボルトに固定して下さい。



※柱は自立しませんが、漆木を用いる等倒れない工夫を行って組み立てて下さい。

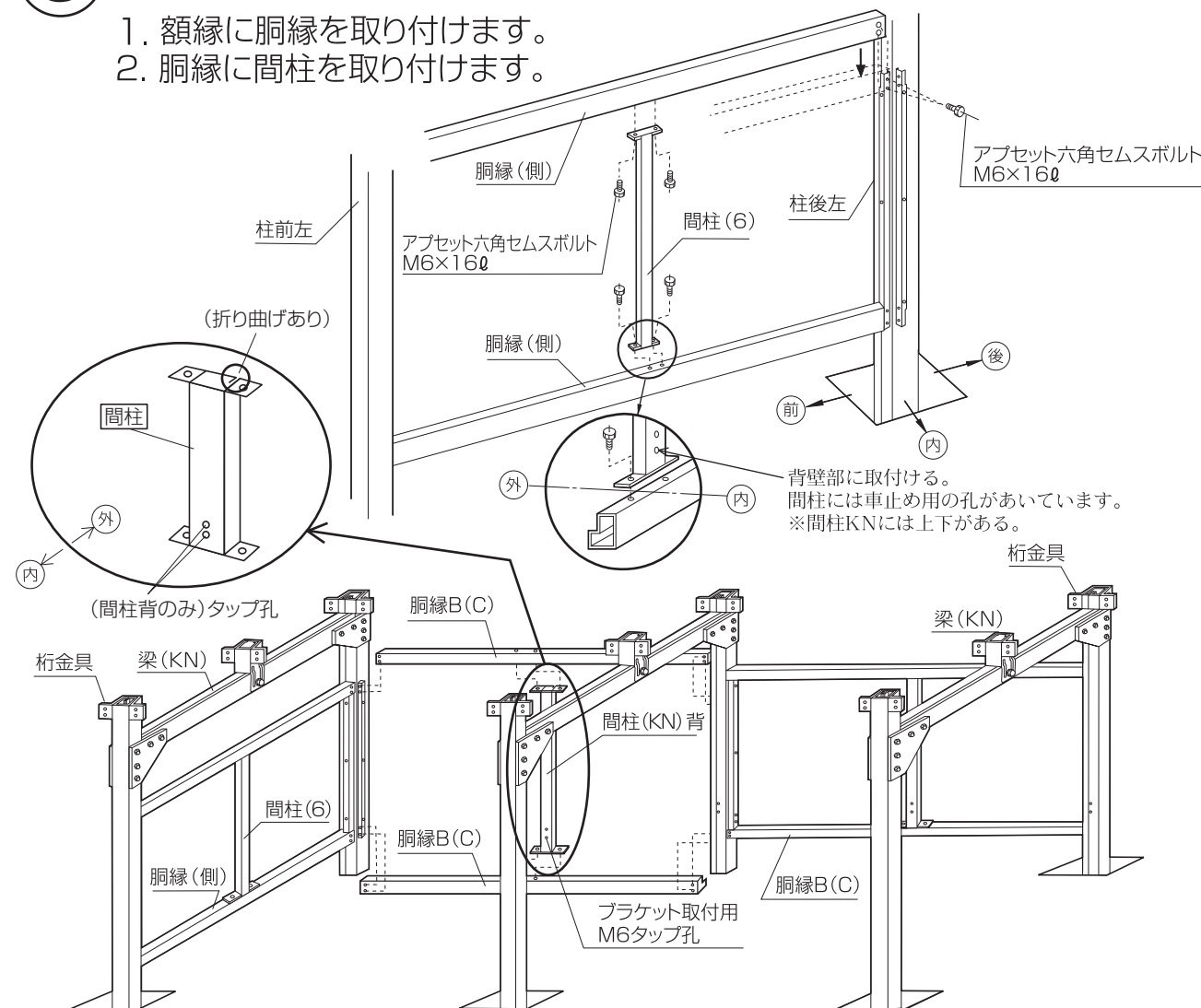
4 柱と梁の連結

1. 柱と梁を三角プレートではさみ固定します。
2. 束金具(KS)に桁金具を取り付けます。



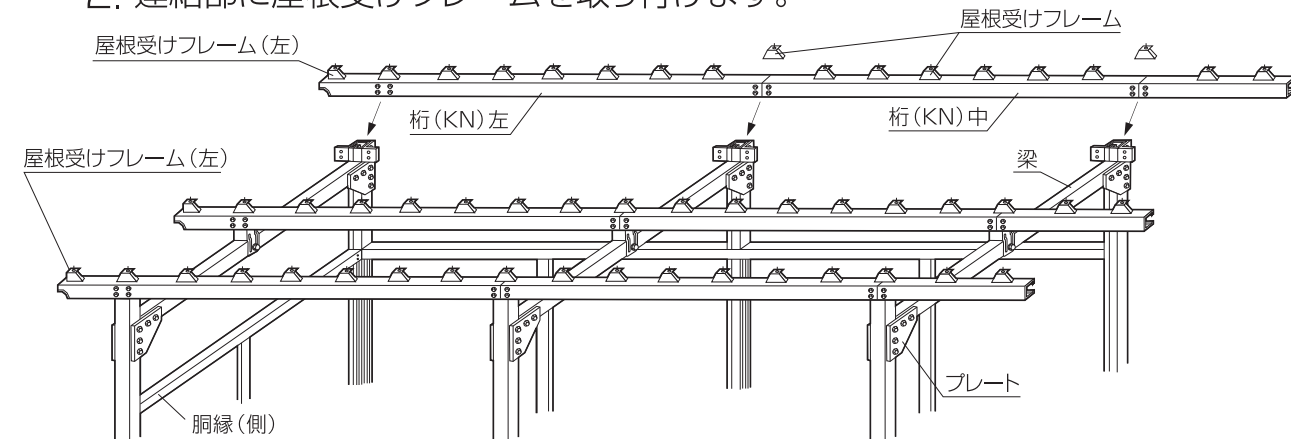
5 胴縁、間柱の取付け

1. 額縁に胴縁を取り付けます。
2. 胴縁に間柱を取り付けます。



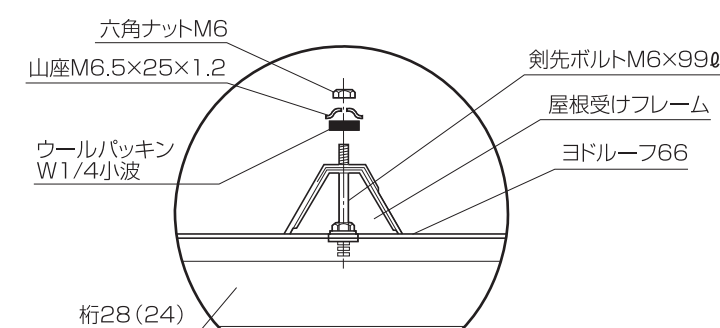
6 桁の取付け

1. 桁を取り付けます。
2. 連結部に屋根受けフレームを取り付けます。



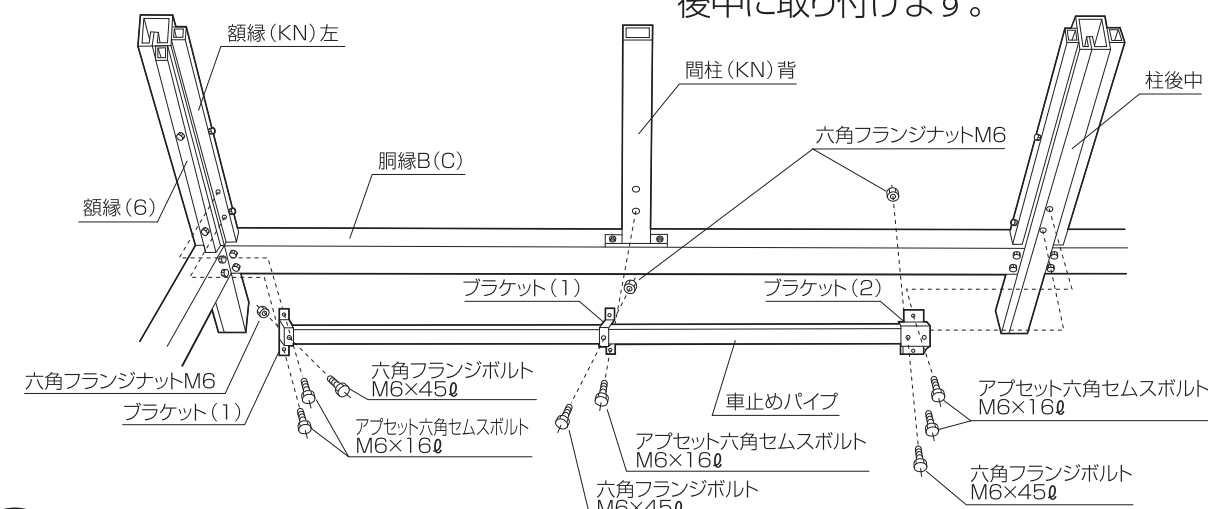
7 屋根の取付け

1. 屋根を左側からのせます。
2. 右図を参考に止結します。 ※この時両端はまだ止結しません。(ケラバと同時に止結する為)



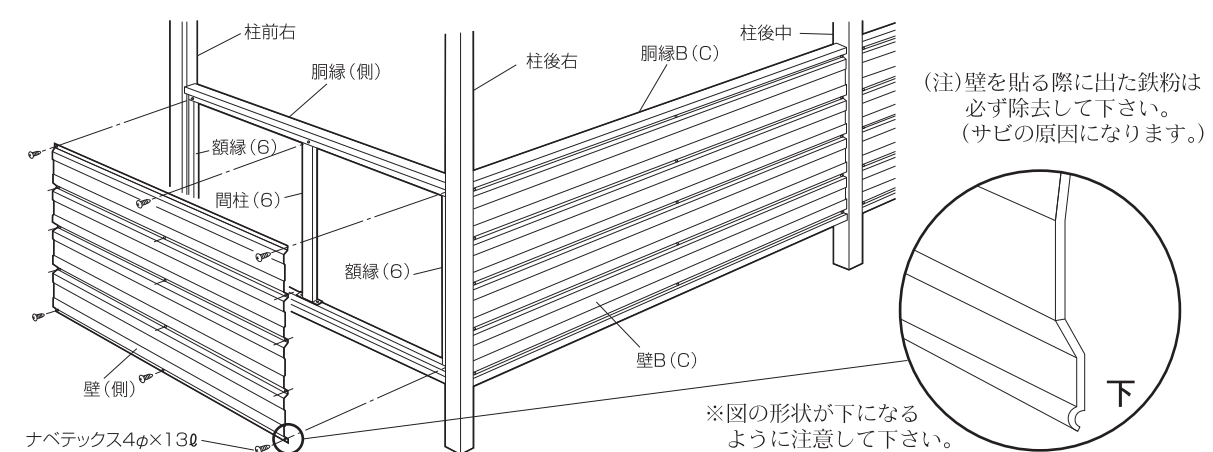
8 車止めパイプの取付け

1. 車止めパイプにブラケットを取り付けます。
2. 車止めパイプを額縁KN、間柱KN及び柱後中に取り付けます。

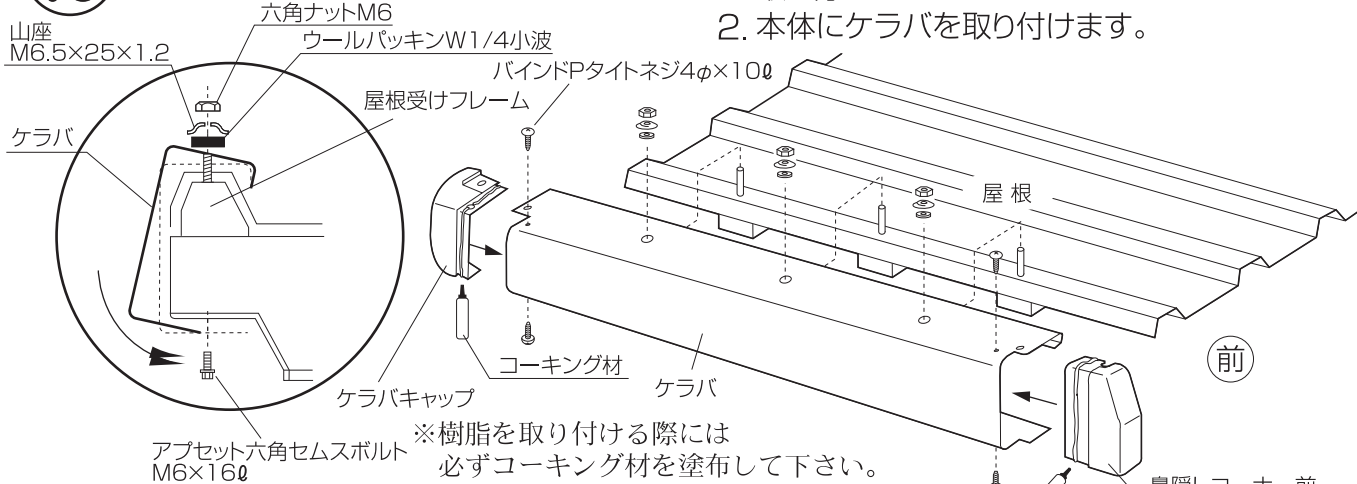


9 壁の取付け

1. 壁を外側から貼り付けテックスで胴縁・額縁・間柱に固定します。

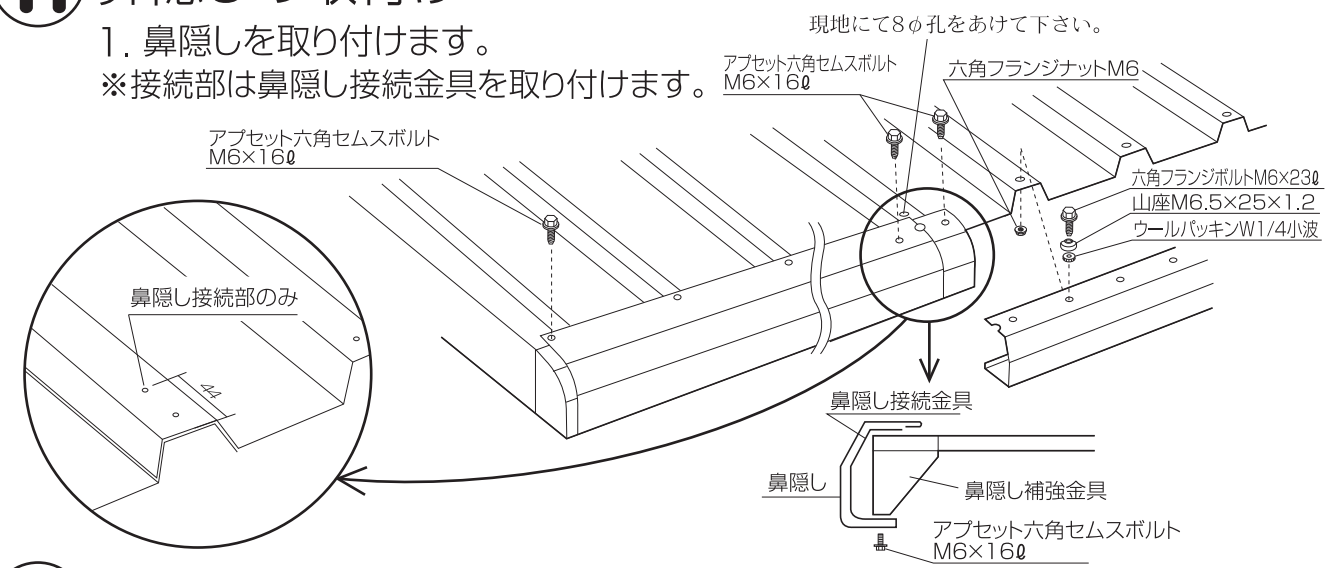


10 ケラバの取付け



11 鼻隠しの取付け

1. 鼻隠しを取り付けます。
- ※接続部は鼻隠し接続金具を取り付けます。



12 柱の高さ垂直を確認し、周囲にコンクリートを流しこんで下さい。

13 表面の完成図を参考に銘板をはり付けて完成です。

※ボルトのゆるみを再度確認して下さい。